

島根県津和野町 門林地区婦人防火クラブ

島根県津和野町門林地区婦人防火クラブ
会長 岸田 朱美



津和野町は島根県の最も西側に位置し、山あいの盆地に城下町のたたずまいを残した町並みが広がっています。「山陰の小京都」ともよばれ、その風景を眺める山の中腹に門林地区があります。

門林地区婦人防火クラブは昭和38年に結成し現在クラブ員19名で活動しています。主な活動は火災予防運動に併せた防火のぼりの掲揚や防火チラシの配布による広報活動、応急手当講習の受講、消火器の取扱い訓練などですが、「防災散歩」と称し地区の見守りを兼ねて、クラブ員で門林地区を散歩しながら危険箇所の見回り、独り暮らしの方の安否確認も実施しています。また、婦人会や地区の集まりを利用して、住宅用火災警報器の設置推進、更新、点検の広報を実施しています。説明するだけでなく実際の警報器に触ってもらい、蓋を開いた中の構造や点検の方法など設置後では分からなくなってしまう事に重点を置いて、自身で操作

を行っていただきます。「中に電池があり寿命があることを知った、点検の方法がよく分かった。」など参加者からも好評で今後も続けて行きたいと思います。

島根県の高齢化率が高いように私たちの地区もクラブ員の高齢化が進み、大きな行事や活動を行うことはできませんが、これからも地域に根ざした活動を通して門林地区の安全安心を守るため、防災活動に邁進したいと思います。



鹿児島県鹿児島市 自由ヶ丘一区自主防災会

鹿児島県鹿児島市自由ヶ丘一区自主防災会
会長 原田 俊之



自由ヶ丘一区自主防災会は鹿児島市南部に位置し、約400世帯が居住する自由ヶ丘一区町内会を区域に活動しています。町内会独自の加入促進策により約98%の住民が加入しておりますが、共働き世帯や高齢者が多い当会では「出来る人が出来るとき、出来る事を出来る方法で」をモットーに活動しています。

鹿児島は火山噴出物であるシラスで覆われ土砂災害が起こりやすく、台風の接近や梅雨時の雨量も多いうえ、区域内に土砂災害警戒（特別）区域もあることから風水害には特に警戒しており、大雨時には青パトで避難を呼びかけるほか避難場所を記したチラシを配付しています。

しかし、近年、雨の降り方が局地化、激甚化し、さらに桜島の大規模噴火への備えも必要な中、災害発生時、誰がどの様な方法で地域の子供や高齢者を守ることが課題となったことから、住民の生活状況を把握するため、年度初めに世帯者カードに実態を記入してもらい、災害

時等には役員が即対応出来るようにしています。また、炊出し訓練で作成した食料を避難行動要支援者に配布し、要支援者の把握にも努めています。今後は、これまでの防災研修や避難訓練などを継続するほか、突発的に実施する訓練も検討していますが、そのような地域の防災を考えるためには、町内会への高い加入率も不可欠であろうと思います。

